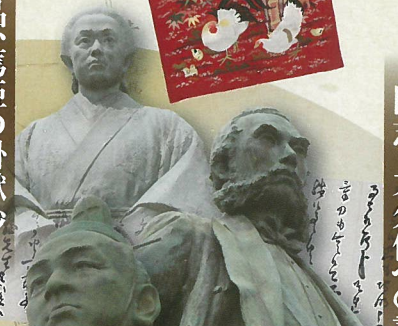


同志、大久保への書状



気品、篤姫の掛袱紗

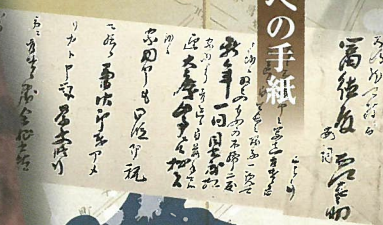


名君、斉彬の大鎧



英雄の激動の軌跡

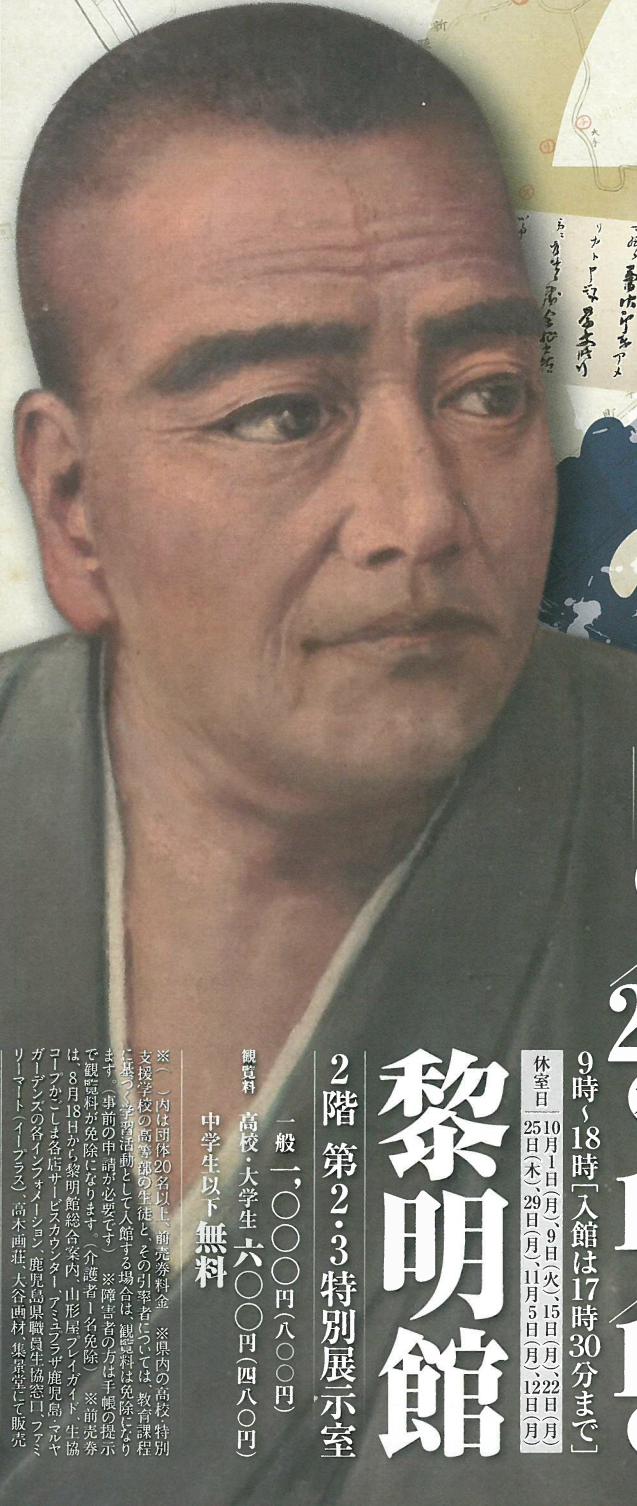
愛妻、愛加那への手紙



近代国家への先導者「西郷隆盛」

その凄まじいまでの生き様を

遂に、ここ「薩摩」で紐解く。



明治維新150周年記念  
黎明館企画特別展

NHK  
大河ドラマ  
特別展

西郷

SEGODON

平成30年  
9月27日(木)～11月18日(日)

9時～18時「入館は17時30分まで」  
休室日 10月1日(月)・9日(火)・15日(日)・22日(月)  
25日(木)・29日(月)・11月5日(月)・12日(月)

黎明館

2階第2・3特別展示室

観覧料 一般一、〇〇〇円(八〇〇円)  
高校生・大学生六〇〇円(四八〇円)  
中学生以下無料

※(一)内は団体20名以上、前売券料金 ※県内の高校特別支援学校の高等部の生徒は、その引率を若干上り、又は、教育課程に算入する活動として入館する場合、観覧料は免除となります ※事前の申請が必要です ※障害者の方は、手紙の提示で観覧料が免除になります ※介護者1名免除 ※前売券は、8月18日から黎明館総合案内・山形屋ブレイクアウト・生協コープか、各店舗サービスカウンター、アミューズ鹿児島高、元ガリーダンスの各インフォメーション、鹿児島県職員協会の窓口、ファミリーマート、ファミリーマート、高木画荘、大倉画材、集泉堂にて販売

西郷隆盛肖像画(部分) 石川静正画(個人蔵) / 伝島津斉彬所用 白紫糸袷威大鎧(個人蔵(宮崎・都城島津邸寄託)) / 愛加那宛 西郷隆盛書状(特留製油株式会社) / 大久保利通宛 西郷隆盛書状(鹿児島県歴史資料センター黎明館) / 天璋院所用 掛袱紗(紅鯉鱒地竹に鶏文様) (公益財団法人徳川記念財団) / 西南戦争城山攻防大配置図屏風(京都・豊山歴史館)





黎明館「西郷どん」展は、平成30年NHK大河ドラマ「西郷どん」の放送に関連して、ドラマの登場人物に関係する文化財や歴史資料を通じ、主人公である西郷隆盛ゆかりの地の歴史や文化を紹介する展覧会です。

明治維新の英雄である西郷には、肖像写真が一枚も残っておらず、その生涯は未だに謎に包まれています。薩摩藩の下級藩士の家に生まれた西郷は、両親を早くに亡くし、家計を支えるために農政の役人補佐として働き始めます。やがて、藩主の島津斉彬に抜擢された西郷は、斉彬の密命をおび、江戸や京を奔走し、薩摩を代表する人物へと成長していきました。

多感な青年期を経て、三度の結婚、二度の離島での生活ののち、一介の薩摩藩士に過ぎなかった西郷は、勝海舟、坂本龍馬らの人物たちと出会い、やがて「革命家」へと変貌し、倒幕の大きな原動力となります。類い希なる「勇気」「決断力」「実行力」で、明治維新を成し遂げた西郷ですが、その最期は、明治政府と戦い、命を散らすこととなりました。本展においては、西郷の生涯と、彼を取り巻く維新の群像について、節目となる歴史的な出来事を中心に、激動の時代をリアルに感じることが出来る資料、西郷本人ゆかりの品々を紹介していきます。

プロローグ

## 西郷と薩摩

西郷隆盛は文政十(一八二七)年、鹿児島(鶴丸)城下に生まれました。ここでは、西郷の肖像や当時の城下に関する資料を展示します。また、西郷を育んだ幕末薩摩の文化や風土も併せて紹介します。

城山陥落の前夜に  
演奏されたと  
伝わる琵琶



薩摩琵琶 銘 木枯  
伴彦四郎作(個人蔵)

鹿児島  
の  
洋画家が描く  
桜島の風景

しごみまさとし  
薩摩潟 床次正精画(鹿児島県歴史資料センター黎明館)



第一章

## 船出

嘉永六(一八五三)年のペリー来航は、西郷の人生に大きな変化をもたらしました。本章では、斉彬に見い出された西郷が、篤姫(天璋院)の婚礼実現や將軍継嗣問題に関わる中で、徐々にその存在が知られていった経緯などについて紹介します。

子孫繁栄と家族の  
幸せを願う吉祥文



かけまくら  
天璋院所用 掛袱紗  
(紅縮緬地竹に鶏文様)  
〈公益財団法人徳川記念財団〉

※一部、資料の展示替えがございます。

始まりは薩摩  
大  
初  
の  
群  
像  
ハ  
ズ  
ル



第一章 流転

齊彬の死後、西郷は二度の離島生活を余儀なくされるなど、苦難の時期を過ごします。本章では、西郷が過ごした奄美大島・沖永良部島での日々や、西郷不在の中でますます混迷を深めていった政局について紹介します。



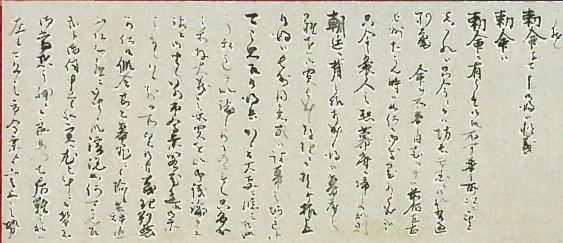
伝西郷隆盛使用 酒器  
〈奄美市立奄美博物館〉

西郷が  
沖永良部島で  
自作したと  
伝わる疑似餌



薩摩烏賊餌木〈山形・公益財団法人荘内南洲会〉

西郷が  
島の恩人に  
贈った舟徳利

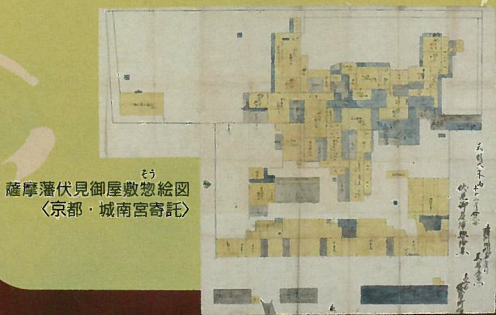


西郷隆盛宛 大久保利通書状(部分)  
慶応元(1865)年9月23日付  
重要文化財、大久保利通関係資料〈国立歴史民俗博物館〉

第二章 飛翔

遠島処分から復帰後、すぐに西郷は禁門の変や第一次長州征討などの重要な事件に薩摩藩を代表して関与していきます。本章では、薩長同盟から大政奉還、王政復古の政変に至るまで常に政局の中心で重要な役割を果たし、新しい時代の幕開けに大きく貢献した西郷の業績を紹介します。

大久保曰く  
「非義の勅命は  
勅命にあらず」  
篤姫が立ち寄り、  
坂本龍馬を匿った  
伏見屋敷の図



薩摩藩伏見御屋敷惣絵図  
〈京都・城南宮寄託〉

第四章 英雄

江戸無血開城を実現した後、一度鹿児島に戻った西郷は、新政府からの再三の出仕要請により、出仕と帰郷を繰り返しましたが、再び政界に復帰して廃藩置県などの改革に尽力します。しかし、朝鮮をめぐる外交問題で盟友の大久保利通と袂を分ち、再び鹿児島に戻った西郷は、西南戦争の勃発によって命を散らすこととなりました。本章では、西郷と大久保の二人の英雄が最期を迎えるまでの道程を紹介します。

西郷が犬を  
預かる代わりに  
贈った刀装具



西郷隆盛所用 刀装具(縁頭、目貫)〈個人蔵〉

天を敬い  
人を愛す

書「敬天愛人」  
西郷隆盛筆  
鶴岡市指定文化財  
〈個人蔵〉



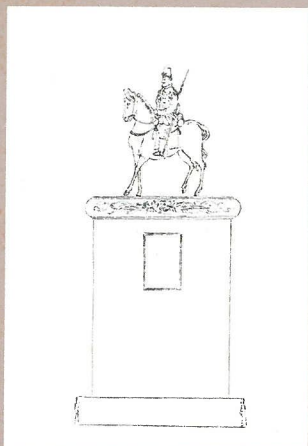


## 人々の中の西郷

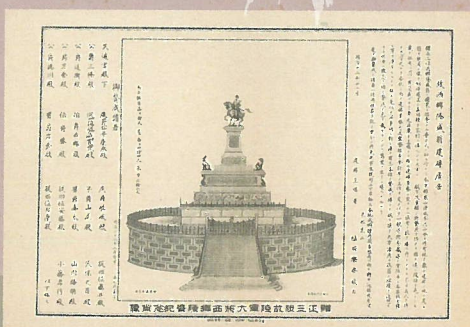
西南戦争後も、西郷の人柄を慕う人々は後を絶たず、世間では「西郷星」などの西郷伝説が語り継がれました。明治政府も、そのような西郷の人氣と功績を無視できず、明治二十二（一八八九）年の正三位追贈や、上野の銅像建設実現の動きへと繋がっていきました。ここでは、西郷が郷里鹿児島の人から国民的英雄になるまでの経緯に関する資料を展示します。

## 幻の西郷隆盛像

西郷隆盛翁  
記念碑建設  
目論見・関見書類



西郷像建設案と書類(京都・雲山歴史館)

故西郷隆盛翁建碑廣告  
(石川・山鬼文庫)

## 関連プログラム

記念講演会 **入場無料**

演題 「西郷隆盛と西南戦争」

- ◆日時／平成30年10月6日(土) 13:30~15:00
- ◆会場／黎明館2階 講堂(245席)
- ◆講師／明治大学文学部教授 落合 弘樹 氏

記念シンポジウム **入場無料**

テーマ 「西郷隆盛と明治維新」

- ◆日時／平成30年10月20日(土) 13:30~16:00
- ◆会場／黎明館2階 講堂(245席)
- ◆パネリスト／鹿児島県立図書館長 原口 泉 氏(基調講演)  
大阪経済大学特別招聘教授 家近 良樹 氏  
鹿児島大学教育学部准教授 佐藤 宏之 氏  
尚古集成館長 松尾 千歳 氏

黎明館職員による展示解説講座① **入場無料**

演題 「幕末維新期の政局における西郷隆盛と島津久光」

- ◆日時／平成30年9月30日(日) 13:30~15:00
- ◆会場／黎明館2階 講堂(245席)
- ◆講師／黎明館学芸専門員 市村 哲二

黎明館職員による展示解説講座② **入場無料**

演題 「愛加那と西郷隆盛」

- ◆日時／平成30年11月10日(土) 13:30~15:00
- ◆会場／黎明館2階 講堂(245席)
- ◆講師／黎明館学芸課主事 小野 恭一

※講演会・シンポジウム・展示解説講座終了後には、展示場にて展示解説を実施(40分程度、団体観覧料が必要)

※先着順で、どなたでも聴講できますが、席に限りがあります。  
※駐車台数には限りがありますので、なるべく公共交通機関を御利用ください。

## アクセス

- ・JR鹿児島駅から徒歩15分
- ・JR鹿児島中央駅から車で15分
- ・鹿児島空港から車で50分
- ・市電「市役所前」下車徒歩5分
- ・バス「薩摩義士碑前」下車すぐ、「市役所前」下車徒歩5分  
(駐車場) 照国神社鳥居を右折し直進(普通車125台・バス20台)

## 問い合わせ先

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

tel 099-222-5100 (代表)  
〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号  
<https://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>

